

第5回大竹市地域公共交通活性化協議会

記 録 票

日時：平成21年 2月25日（水）

午前10時～

場所：大竹市役所 3階大会議室

出席者等：別紙「名簿」のとおり

1 開 会

2 あいさつ（会長：小田）

先日、計画の概要が新聞報道され、市民の関心も高まってきているのではないかと思います。かねてから、行政にすべて頼りきり、分け与えられる住民自治というものに疑問を抱くとともに、すでにそのような時代ではなくなっていると思っています。

公共交通の整備についても「住民参加」により実現し、大竹市における新しい行政手法のモデルになるような取り組みにしていきたいと考えている。

本日は、中間案のパブリックコメントをふまえて、総合連携計画の最終案を決定する予定である。昨年3月に協議会を立ち上げて以来、「連携計画の策定」という区切りを迎え、何とか1つ目の山を越えたことになろうかと思う。

3 議 題

(1) 大竹市地域公共交通総合連携計画（案）について

【事務局（香川）資料により説明】

①パブリックコメントの実施状況

2月6日から18日までの間にパブリックコメントを実施した。実施の周知は2月9日に市ホームページにより行った。

27件の意見を頂いた。寄せられた意見は、別紙資料「パブリックコメントの意見」を参照されたい。意見は、項目ごとに分類し協議会としての考え方を付している。また、必要に応じ計画中間案の修正等を行っている。それに沿って修正したものを、本日、計画案としてお配りしている。中間案からの修正箇所は別紙に朱書きで示しているとおりである。あくまで、事務局の案であるため、パブリックコメントをふまえて、計画案の修正や追加等があれば、ご意見をお願いしたい。

②寄せられた意見の紹介

③支線交通（三ツ石地区）の変更点について説明

三ツ石地区の支線交通の料金体系の記載を変更する。

発言 1（冨田委員） 前回の協議会で質問のあった「乗合タクシー」の料金設定について、検討した見解を説明する。道路運送法では「貸切事業」と「乗合事業」の2つの方法がある。「貸切」とは文字通り一定区間を借り上げて利用することになるので、借上料を利用者で負担することになる。「乗合」とは一般的なバス運行のようなもので、同一区間同一運賃が基本である。

今回の三ツ石地区の案は、利用者運賃の合計が均一でないため「貸切」ではない。また、乗車人数によって運賃が変わると「乗合」とは言えない。また5人以上の予約があった場合の料金をどう取り扱うべきかという、実務上の問題も起きやすい。

検討した結果、乗車人数に関わらず、運賃を均一にする「乗合」としての運行が、適当ではないかという結論である。

質疑 1（越水委員） タクシー車両を使って乗合事業をすることができるのか？

回答 1（中国運輸局） タクシー車両を使って「乗合事業」をすることは可能である。ただし「乗合事業」の許可は必要である。「貸切」の場合は長距離の場合を除きメーター料金が「貸切運賃」となるので、あらかじめ定額の運賃を設定することはできない。

質疑 2（賀屋委員） 幹線の実証運行は社会実験であり改良していけばよいと思うが、パブリックコメントの意見では、玖波駅～大竹駅のルート外の対応をどうするのかという問題もある。車両の台数と運行間隔の問題になると思うが、2台の車両を南北2ルートにすれば運行範囲が広がり、より多くの居住地域をカバーできるのではないかと。

回答 2（事務局） 車両を増やせば、事業費も市の補助額も増加することになる。ルートについてはアンケートやワークショップの意見をふまえて考えたものである。もちろん栄町や元町などを望む意見もあったが、幹線を延長するのが良いのか、支線を導入するのが良いのか、地域と一緒に考えていきたい。全ての方が満足するルートということ難しいが、なるべく多くの人にとって一定の満足が得られるものを導入していきたい。運行台数や手法については事業費との兼ね合いはあるが、地域を置き去りにするようなことは考えていない。

質疑 3（賀屋委員） 近隣の状況もあり、料金を安く（100円）設定したほうが利用促進につながるのではないかと。

回答 3（事務局） アンケート結果では「200円まで」と回答した方が最も多かった。もちろん、料金は安いに越したことはないが、結果的に破たんしたという事例も他市で起こっている。「将来にわたり持続できる公共交通」を目指していきたいと考えている。そのためには、利用者の皆さんにも一定の負担はお願いしたいと考えている。

質疑 4（傍聴者 A） 幹線が走るようになると、栗谷線はどうなるのか。

回答 4（事務局） 重複する区間（玖波駅～大竹駅）は調整が必要になる。運行事業者とも協議していきたい。また、将来的なことも考えると栗谷線についても、栗谷地区、松ヶ原地区の方と一緒に考えながら進めていきたい。

会 長（小田） それでは、計画案の修正・追加はないようなので、この案を「大竹市地域公共交通総合連携計画」としてよろしいか。

委 員 異議なし。

会 長（小田） では、これを計画とし、最終的には誤字等があれば修正を事務局にお願いします。

(2) 幹線交通検討分科会の設置について

【事務局（香川）説明】

幹線交通については今年10月からの実証運行を目指しているが、そのルートや運賃などの詳細を検討するため、「幹線交通検討分科会」を設置したい。概要は「設置要綱」に示している。公募委員10人程度と、推薦委員5人程度で構成できればと考えている。公募は市広報、市ホームページ等で行う予定であるが、広報紙が4月1日号になるため、4月中旬をめどに募集し、遅くとも5月上旬には分科会を開催し、具体の検討に入りたいと考えている。

⇒ 質疑なし。

委員全員 異議なし。

3 その他

(1) 入山市長あいさつ（お礼）

(2) 次回の開催予定について ⇒ 新年度早期に開催する予定。

4 閉 会